

製品名: RPA32 (3E7) マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM03510**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,ICC/IF,IP
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG2b
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% アジ化ナトリウムを含む PBS 液 (pH 7.3)。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,ICC/IF 1:50-1:200,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 29 kDa; Observed MW: 32 kDa

抗原情報

遺伝子名	RPA2
別名	60S acidic ribosomal protein P1; AA409079; AI325195; AU020965; HSSB; ik:tdsubc_2g1; M(2)21C; MGC137236; OTTHUMP00000004008; p32; p34; RCJMB04_6d17 replication protein A2; 32kDa; REPA 2; REPA1; REPA2; Replication factor A protein 2; Replication protein A 32 kDa subunit; Replication protein A 32kDa subunit; Replication protein A 34 kDa subunit; Replication protein A; replication protein A1 (70kD); Replication Protein A2 (32kDa); Replication protein A2 32kD; Replication protein A2 32kDa; Replication protein A2; Replication protein A2; 32kDa; RF A; RF-A protein 2; Rf-A2; RFA; RFA2_HUMAN; RP A; RP-A p32; RP-A p34; RP21C; RPA 2; RPA 32; RPA; RPA2; RPA32; RPA34; RPA70; RpLP1; RpP2;

xx:tdsubc_2g1; zgc:109822.

遺伝子 ID	6118
SwissProt ID	P15927
免疫原	標的タンパク質に対応する合成ペプチド

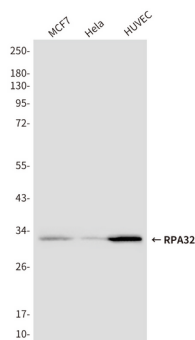
背景

ヘテロ三量体複製タンパク質 A 複合体 (RPA/RP-A) の一部として、DNA 複製中または DNA ストレス時に形成される一本鎖 DNA 中間体に結合し、安定化させます。RPA はそれらの再アニーリングを阻害すると同時に、DNA 代謝に関与する様々なタンパク質や複合体をリクルートし、活性化します。これにより、RPA 複合体は DNA 複製と DNA 損傷に対する細胞応答の両方において重要な役割を果たします。DNA 損傷に対する細胞応答において、RPA 複合体は DNA 修復と DNA 損傷チェックポイントの活性化を制御します。

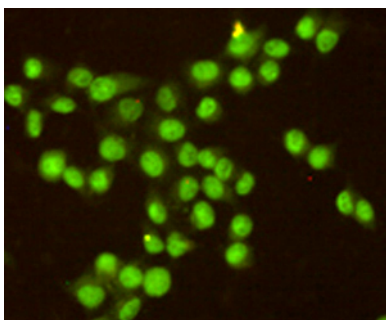
研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達

画像データ



RPA32/RPA2 抗体を使用した MCF-7、HeLa、HUVEC 溶解物中の RPA32/RPA2 のウェスタンブロット分析。



RPA32/RPA2 抗体を用いた HeLa 細胞の RPA32 (3E7) の免疫細胞化学分析。

RPA32/RPA2 抗体を使用した HeLa 溶解物中の RPA32 (3E7) の免疫沈降分析。

